

# 令和3年度児童家庭支援センターリボン事業報告書

## 〔事業目的〕

地域の児童福祉に関する問題につき、児童に関する家庭からの相談のうち専門的な知識及び技術を要するものに必要な助言を行うとともに、市町村の求めに応じ技術的助言その他必要な援助を行うほか、保護を要する児童又はその保護者に対する指導を行い、あわせてこども家庭センター・児童福祉施設等と連絡調整等を総合的に行い、地域の児童・家庭の福祉向上を図る。

## 〔事業実績〕

### 1 相談に応ずる事業

#### (1) 相談件数

##### 【月別個別相談延件数】

※指導委託ケース対応件数は除く。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	13	7	8	4	6	13	11	21	6	37	9	21	156
来所相談	3	1	0	0	2	1	0	2	1	0	1	3	14
訪問相談	18	17	41	31	61	0	66	109	40	33	131	141	688
心理療法等	9	3	13	16	31	19	16	4	4	13	2	6	136
メール相談	10	7	0	0	20	24	12	14	8	32	0	18	145
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	53	35	62	51	120	57	105	150	59	115	143	189	1139

##### 【こども家庭センターからの指導委託ケース対応件数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22	11	24	43	10	27	21	15	34	17	9	7	240

年間相談延べ件数：1,379件

(個別相談件数 1,139件、指導委託ケース対応件数：240件) うち夜間早朝対応：20回

#### (2) 実施内容

- ① 相談者に対して、親子のコミュニケーションや、望ましいしつけに関して、具体的な方法を伝える等の支援を行った。
- ② 相談に応じる中で、子どもの特性に応じた関わり方を知るために発達検査・知能検査を行い、保護者や担当者、担任教師などに関わり方を助言した。
- ③ コモンセンスペアレンティング・トレーニングを用い、親が子どもの問題行動に教育的に対処できるしつけのスキルを身につけられるよう促し、良好な親子関係の構築と虐待予防を図った。

### 2 市町村の求めに応ずる事業

- (1) 香美町子どもの健康クリニック事業・5歳児発達相談事業に心理士を派遣し、対象児童の発達に関する相談に応じ、発達検査を実施した。回数：10回 対象者数：32名

- (2) 朝来市5歳児発達相談事業へ心理士を派遣し、対象児童の発達に関する相談に応じ、発達検査を実施した。回数：10回 対象者数：9名
- (3) 朝来市内の子育て学習センター4ヶ所（朝来、生野、山東、和田山）に毎月訪問し、保護者の子育て・発達に関する相談を受け、各センター担当者とケースを共有した。  
訪問回数：41回 相談延数：167件
- (4) 朝来市立朝来中学校職員校内研修会において、心理士が生徒理解促進を目的とした個々の生徒への関わり方について講義を行った。（11/24）
- (5) 姫路市立前之庄小学校職員校内研修会において、子どもの発達障害をテーマに心理士が講義を行った。（12/20）

### **3 こども家庭センターからの指導委託による指導**

- (1) 指導委託人数 3人（豊岡こども家庭センター）
- (2) 指導委託対応年間延べ件数 240件
- (3) 実施内容
  - ① 定期的な訪問、通所、電話・メール相談、手紙による助言、指導を行った。
  - ② こども家庭センターへ毎月指導状況報告書により、状況を報告した。
  - ③ こども家庭センターから助言、指導を受けながらケースの支援を行った。
  - ④ こども家庭センターや市の福祉課、関係機関等と個別ケース会議・カンファレンスに出席し、ケースについての支援方法について検討した。

### **4 里親支援**

- (1) 養育里親認定前研修・養育里親更新研修における里親施設実習の中で、児童家庭支援センターリボンの事業と里親支援について説明し、利用を促した。
- (2) 朝来市山東町校区に里親制度啓発チラシを配布した。
- (3) 朝来市民生委員・児童委員定例会議にて、里親制度についてのDVDを上映し、啓発を行った。  
10/8 生野町民生委員・児童委員定例会：28名  
11/17 朝来町民生委員・児童委員定例会：33名  
※和田山町・山東町は新型コロナウイルス蔓延防止措置により中止。
- (4) 朝来市子育て学習センター職員研修会にて里親制度DVDを上映し、里親制度の広報を行った。
- (5) フォスタリング地区会議に出席し、里親支援についての情報共有、意見交換を行い連携を図った。
- (6) 里親からの相談に応じ、里親の悩みや不安に対する助言、養育に関する助言などの支援を行った。
- (7) ホームページにて、里親制度についての啓発を行った。

### **5 関係機関との連携、連絡調整**

- (1) こども家庭センターとのケース会議をもち、こども家庭センターからの指導委託ケースや要対協ケースについて情報を共有し、支援方針の確認等を行った。
- (2) 一時保護、ショートステイの受け入れ窓口としての役割を担った。
- (3) 各市福祉課、健康課、教育委員会（学校・保育園）等と、連携ケースに関わる情報交換を行い、各々の役割を確認し支援を行った。

- (4) 朝来市、養父市、丹波市、丹波篠山市、豊岡市、香美町、新温泉町の要保護児童対策地域協議会へ参加し、地域の現状を把握すると共に各々の役割を確認した。また、連携ケースの情報を交換し、役割分担と連携の必要性を認識した。

## **6 地域支援事業・子育て支援事業**

- (1) まちの子育てひろば「リボン・ほっとサロン」を開催し、地域の子育て中の母親からの子育て・発達に関する相談を受けた。  
※今年度は新型コロナウイルス感染予防の為中止。
- (2) まちの子育てひろば事業にアドバイザーとして職員を派遣した。  
※今年度は新型コロナウイルス蔓延防止措置・非常事態宣言にて開催中止。

## **7 運営管理**

### (1) 職員数

	センター長	副センター長	相談支援員	心理士	計
年度始	1	1	3	1	6
年度末	1	1	3	1	6

### (2) 健康診断等

定期健康診断 10月5日：4人